

さっぽろ<子育て・教育>市民フェスティバル 2016

2016年

10月10日(月・祝)

9時45分～16時30分

(受付開始9時30分)



イラスト提供：ふわふわ。り

会場

札幌市男女共同参画センター

(札幌市北区北8条西3札幌エルプラザ内)

講演会

9:45~12:00 ホール(3階)



『助けてといえる社会へ』

奥田 知志 さん

大人も子どもも、「他人は他人、自分は自分」という生き方をしていないでしょうか。NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演、牧師であり、長年ホームレス支援に携わってきた奥田さんのことからは、ひととひとが本当につながるの意味が伝わってきます。つながりを広げて一人ひとりが大切にされ、子育てしやすい地域社会を築きたいと願うとき、奥田さんの培ってこられた「つながりのあり方」から大いに学ぶことができるのではないのでしょうか。多くの皆さんと『助けて』といえる社会とは」を考え合う機会になればと企画しました。ご参加お待ちしております。

【プロフィール】1963年滋賀県大津市生まれ。1982年に関西学院大学入学と同時に日本最大の寄せ場(日雇い労働者の街)と出会う。以来、生活困窮者支援・ホームレス支援に携わる。東日本大震災以来、災害支援に携わり、現在熊本地震の災害支援活動中。日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師、認定NPO法人抱樸理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事、一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事。近著:『助けてと言えぬ国へ』(集英社)、『生活困窮者への伴走型支援』(明石書店)

参加費

1,000円(学生:500円)

※午後プログラムのみ参加の場合は無料です。

※未就学児の託児があります。(要予約)1人につき、半日300円、1日500円

主催

さっぽろ<子育て・教育>市民フェスティバル実行委員会

協力

札幌市男女共同参画センター

後援

札幌市、札幌市教育委員会

『笑顔輝く子どもと大人の未来』

「つながり広げて一人ひとりが大切にされる子育て社会に」

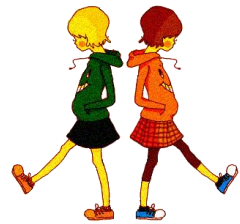
学習交流会

13:00~15:45 大研修室・中研修室（4階）

『「助けて」といえる社会とは…、一人ひとりに寄り添うとは…』

■第一部 全体会（話題提供） 13:00~14:20

- ①太田一徹さん（小学校教諭）
- ②熊木啓二さん（高等学校教諭）
- ③小林真弓さん（ねっこぼっこのいえ）
- ④川瀬亜矢子さん（ピーチハウス）



※4名の方々には日々の実践を通して「助けてといえる社会とは…、一人ひとりに寄り添うとは…」についてお話いただきます。

■第二部 分散交流会 14:30~15:45

※第1部の話題提供を受け、4グループに分かれて分散交流会を行います。4名の話題提供者もそれぞれのグループに参加していただきます。



同時開催「あそびの広場」 13:00~15:30

会場：健康スタジオ1・2（3階）

面白科学実験やスライム作り、工作など、
大人も子どもと一緒に楽しめます。

※未就学児は保護者同伴で参加ください

※「あそびの広場」のみの参加は無料です



終りの集い

16:00~16:30 中研修室（4階）

※講演会・学習交流会の報告、振り返りを行います

「さっぽろく子育て・教育>市民フェスティバル」とは

子どもや青年、大人たちが健やかに育ち、生き生きと学び、生きがいを持って働ける社会・地域を市民の協同で創りあげたいと子育て・教育に関わる団体でつくる実行委員会が毎年開催している集会です。子どもをまん中に市民がつながり、子育てや教育の様々な現状から学びあい「力あわせ」の輪をひろげてきました。どなたでも参加いただけるイベントです。みなさんのご参加をお待ちしています。

＜問い合わせ＞

さっぽろく子育て・教育>市民フェスティバル実行委員会

TEL：090-4502-2397（事務局：さっぽろ子育てネットワーク 沢村）

＜実行委員会団体＞

認定NPO法人北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会、札幌市学童保育連絡協議会
NPO法人学童保育・地域子育てサポートセンター北海道、北海道高等学校教職員組合札幌支部、
子どもと教育・文化 道民の会、全石狩札幌教職員組合、子どもの権利・札幌、さっぽろ子育てネットワーク 他